

～正会員・賛助会員の皆さまへ～

TOHOKU Fan Clubのファンに向けて情報発信をしてみませんか？

2021年12月にスタートした、持続可能な東北観光を実現するための活動と一緒に応援してくれるファンの会員組織「TOHOKU Fan Club」では、2月15日から3月31日まで「友達紹介＆新規入会Wキャンペーン」を実施しました。期間中、友達紹介並びに宿泊券プレゼントキャンペーンへのたくさんのご応募ありがとうございました。

おかげさまで、TOHOKU Fan Clubの会員数は3月31日時点で**2万人を突破**しました！引き続き、TOHOKU Fan Clubへのご登録並びにご紹介をお願いいたします。

【東北観光推進機構正会員・賛助会員の皆さまへのご案内】

TOHOKU Fan Clubでは、ファンへのサービスとして、東北のおすすめ情報の配信やアンケートのご案内をお届けしています。ファンに向けて、正会員・賛助会員の皆さまの、地域のイベント情報や新規施設のオープン情報など発信してみませんか？

今回、正会員・賛助会員様向けに、TOHOKU Fan Clubの情報発信機能の紹介などをまとめた、情報発信のご利用案内を作成しました。

詳細は会員向けメールマガジンにてお知らせいたします。



【特設サイト】



<https://tohokufanclub.com>

会員登録はこちらから↑

タイ国政府観光庁、タイ旅行業協会との相互協力協定にかかる調印式（オンライン）を実施しました（3月15日）

東観推ではタイ市場に向けて、2019年8月に東北の官民による同国政府関係者、観光関係団体および航空会社等へのトップセールスを通じて双方向交流の促進を図ってきました。同年11月にはタイ国際航空仙台ーバンコク直行便の運航が再開され、同年のタイからの訪東北延べ宿泊者数は約13万人と過去最高を記録しました。

新型コロナウイルス感染症拡大後も現地観光関係団体と連携して観光事業者向けのオンラインセミナー、一般消費者向けフルオンラインイベントなどを定期的に行い、継続的なプロモーションを行っています。

タイ国政府観光庁（TAT）、タイ旅行業協会（TTAA）と締結している相互協力協定が2022年3月末で期限をむかえることから、両協定の期限延長を行う調印式をオンラインで実施しました。

両国の出席者からのスピーチでは、本調印式がタイと東北の往来再開のきっかけとなることや、両国の友好を確認し合うなど、相互交流復活への架け橋となるセレモニーとなりました。

<協定の概要>

（1）「観光に関する相互協力協定」

- ・主な内容：TAT が仙台・東北で実施する観光プロモーション、仙台市・東北観光推進機構がバンコクで行う観光プロモーションについて相互に支援を行うこと
- ・当事者：タイ国政府観光庁（TAT）、仙台市、東北観光推進機構

【「観光に関する相互協力協定」の調印】

（2）「インセンティブツアー等の促進に関する相互連携・協力協定」

- ・主な内容：いずれかの当事者が主催するインセンティブツアー等の促進に向けた事業について相互に支援を行うこと。
- ・当事者：タイ旅行業協会（TTAA）、仙台市、東北観光推進機構、仙台観光国際協会

【「インセンティブツアー等の促進に関する相互連携・協力協定」の調印】



台湾で東北PRイベント「日本東北遊楽日」を開催しました（3月5日～6日）

アフターコロナを見据え台湾での東北への関心を更に高めるため、2年ぶりに東北PRイベント「日本東北遊楽日」を台北市にて開催しました。現地の一般消費者に向けたPRを実施するとともに、あらためて東日本大震災以降の台湾からの支援に感謝の意を発信しました。

日本から現地を訪れてPRを実施することが難しい中ではありましたが、東北各県の現地デスクが協力して観光PRブースの運営を行ったり、現地で出演者の手配を行ってステージパフォーマンスを実施したりと、コロナ前に実施していた従来のイベントに近い形での開催を実現できました。

当日は会場の外に長蛇の列ができるほど盛況となり、2日間で来場者数は7万5千人を超えました。来場者からは「アクティビティが豊富でとても良い」「久しぶりに日本に行った気分を味わうことができた」「東北は魅力的だと感じた」といった感想が多くあがりました。また、多くの現地メディアやインフルエンサー等にもイベントの様子が取り上げられ、来場者のみならず、多くの人に東北の魅力をPRする機会となりました。



【会場の様子】



【現地でのなまはげ太鼓の演奏】



【各県のブースの様子】

台湾の3都市で東北観光セミナー（オンライン）を開催しました（3月1日～3日）

台湾の3都市（台北・台中・高雄）において、現地の旅行会社に向けた東北観光の説明や、オンラインを活用した東北各県によるプレゼン、東北各県と現地旅行会社の商談会を実施し、旅行商品造成の促進を行いました。

台湾の旅行会社は、コロナ禍の影響で、担当者の退職や入れ替え、部門の縮小からこれまでの訪日旅行担当者などが変更となっているケースが見られます。今回のセミナーでは、まだ東北へのなじみが薄い担当者から東北を熟知している層までをカバーしながら、東北の基礎的な情報、近年新しくできた観光地、アフターコロナにおすすめのコンテンツ等を紹介しました。

各会場において、いずれも想定を上回る数の旅行会社・メディアの参加があり、台湾現地のコロナの状況が落ち着いていることもあり、早くツアーを造成したいという思いや勢いが感じられるセミナーとなりました。



【台湾会場の様子】



【東北観光セミナー】



【商談会の様子】

タイのメディア・インフルエンサーを招請しました（2月25日～3月1日）

タイの訪日リピーター層をターゲットにメディア・インフルエンサーを招請し、「密を避けた冬のアクティビティと美食の旅」をテーマに、新潟・南東北をPRしました。

20代後半～40代前半の女性の幅広い年代の方々に参加いただきましたが、共通して大内宿での雪景色などの景勝地が好評で、五色沼のシュートレッキングなど体力が必要な雪のアクティビティも世代問わず楽しんでいただきました。

タイの方々にはフォトスポットがある場所の人气が高く、多くの写真を撮影して現地向けてPRしていただきました。

引き続き、往来再開後の早期旅行商品造成を促し、インバウンドの早期回復を図って参ります。



【石打丸山スキー場】



【松島での着物着付け体験】

トラベルマート商談会（オンライン）に参加しました（3月1日～3日）

海外の旅行会社と現状に係る情報交換や、継続して東北の観光の魅力を発信し、旅行商品造成促進につなげることを目的に海外現地旅行会社と商談を行いました。東観推からは来年度重点市場である「中国・タイ・台湾」を中心に、各エリアからも注目の高い「東北の冬」を核とした売り込みを行いました。

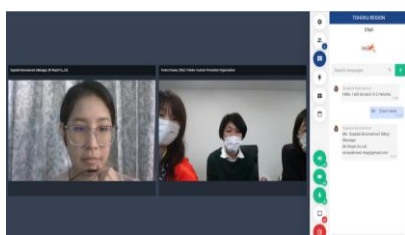
中国市場では、やはり羽生結弦選手の人気が高いこと、東北のスキー場は今後注目度が上がることが挙げられました。

タイ市場では、既に有名な銀山温泉への関心の高さに加え、「みちのく杜の湖畔公園」やグランピングに興味を見せる会社も多く見受けられました。

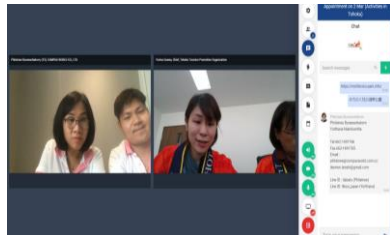
台湾市場では、既に東北の情報をかなり把握しており、既存のものとは違う尖ったコンテンツを探している印象でした。

いずれのバイヤーも早期の渡航再開を望んでおり、国内でも海外旅行への憧れが非常に高まっているとのことと、渡航再開後の活発的な往来が期待できる商談でありました。

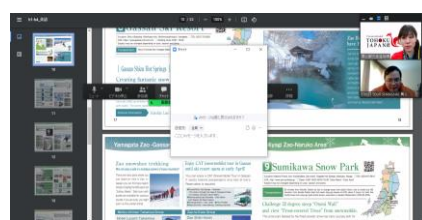
また、商談者全員にメールでのフォローアップを実施したところ、複数から返信や問合せがあり、今後の関係性構築にもつながりました。新型コロナウイルスの影響により、完全オンラインでの商談となりましたが、現地の旅行会社の方から「生の声」を聞ける貴重な機会となりました。



【タイの旅行会社との商談】



【中国の旅行会社との商談】



SNSで東北の観光スポットやキャンペーン情報を紹介しています

東観推では、コロナ禍における興味喚起とコロナ収束後の誘客に向け、SNSを活用し、日本国内および海外に対して、東北の観光情報等を発信しています。

東北の季節も冬から春へと移り変わる3月は、英語版では、2月に引き続き、桜特集として、霞城公園の桜（山形県）、三春滝桜（福島県）、高田城址公園の桜（新潟県）、北上展勝地の桜（岩手県）など東北各地の名所を紹介したほか、ムスリム版では、ハラル食提供施設として、万代シルバーホテル（新潟県）の情報を発信しました。

また、日本語版では、動画投稿も取り入れながら、「春の東北」の魅力をPRしています。

引き続き東北観光の魅力発信に取り組んでいきますので、是非フォロー等よろしくお願いします！

つもと？山形市郊外なら、加茂公園を訪ねると、つかの間の桜の美しさと、歴史を味わう機会があります。山形市は、東北地方の藩政の封土。最上義興が拠点となったところ。現在の日の加茂公園は山形市の真ん中であり、山形城跡に建設されました。築城は1986年に国の史跡に指定され、2006年に認められ、日本一の100城のひとつです。

ユニゾンに約1,500本の桜が咲いている。山形市のプレミアム桜見所です。樹齢100年ほどの染井吉野品種のうち1,400本は樹齢100年くらいのもので、他にも数種類あります。大島はくろんば、夜櫻はくろんば、御前光澤（黄色い）、右は、山形カヌーと船屋600年以上のエドヒガンサクラ。夜になると、東と南の端のお庭が照らされ、水面に素晴らしい映り込みを与えます。...もっと見る

📍 桜のスポットを表示: この観光地



	【Facebook（Tohoku Tourism）英語版】 https://www.facebook.com/TohokuTourism/?ref=page_internal	
	【Facebook（Tohoku for Muslims）ムスリム版】 https://www.facebook.com/EnjoyTohokuFood/posts/	
	【Facebook（旅東北 東北観光推進機構）日本語版】 https://www.facebook.com/tohokukanko	
	【Instagram（tohokutourism）英語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism/?hl=ja	
	【Instagram（【公式】東北観光推進機構）日本語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_jp/	

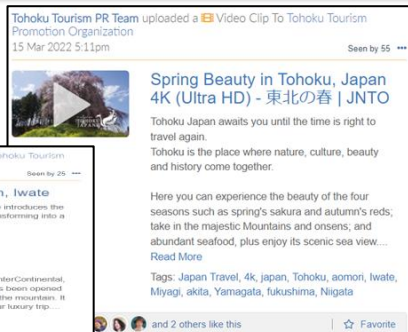
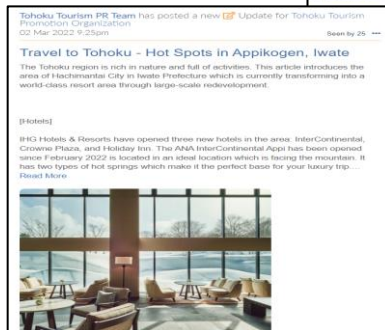
TravMedia「東北プレスセンター」から3月の発信を紹介します

欧米向けの商談会では、富裕層向けの宿泊施設に興味関心が高かったことから、TravMediaでの発信を通して、幅広く周知されることを狙いとし、岩手に新規開業した「ANAインターコンチネンタルホテル」を中心とした、安比高原リゾートの紹介を行いました。

そのほか、東北地域の春を紹介する動画をフックに各地域の紹介を行いました。

メディアの方からは、記事に対して通常よりも多くの「いいね」をいただいております。今後の記事化に期待が持てるものと考えております。来年度以降も、引き続きTravMediaを通して東北の旬な魅力を発信してまいります。

【安比高原リゾートの紹介】



【東北地域の春を動画で紹介】

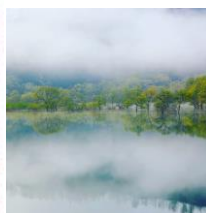
「第4回FINE+東北Instagramフォトコンテスト」開催中！

東観推では、東北観光金融ネットワークと連携し「第4回FINE+東北Instagramフォトコンテスト」を開催中です。応募方法はこちらです。

1. Instagramの公式アカウント「finetohoku」をフォロー
2. 募集テーマに沿った写真を撮影
3. 「#finetohoku4」「#東北PR局」のハッシュタグを付けて投稿

受賞者には豪華賞品をご用意しておりますので、ぜひご応募ください。

※詳しくはこちらから
<https://finetohoku.jp/>



【過去の受賞作品】



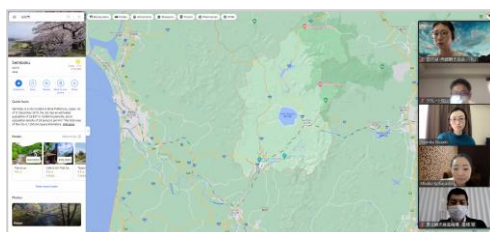
Base! TOHOKU コンシェルジュとの交流会（オンライン）を開催しました（3月4日、10日）

高湯温泉（3月4日）、田沢湖・水沢・乳頭温泉及び花巻温泉（3月10日）とオンラインにてコンシェルジュとの交流会を実施しました。

現地へのアクセス方法・時間などの基本情報からエリアでお勧めの宿、周辺の観光スポットや滞在型コンテンツ、お勧めの飲食店等について紹介し意見交換をしました。

コンシェルジュからは「全く知らなかった情報ばかりでお客さまに自信をもってお勧めしたい」、また「詳細情報について追って情報交換したい」などと高評価でした。

今後はコンシェルジュと各地域が直接連絡し合う環境を整え、首都圏からの送客に繋げてまいります。



【高湯温泉の紹介】



九州地区を対象に東北教育旅行セミナー＆商談会（オンライン）を開催しました（3月15日）

九州地区旅行会社を対象にした東北教育旅行セミナーと個別商談会をオンライン開催しました。

第一部では「だからこそ東北で学ぶ」をテーマにした東観推によるプレゼンテーションのほか、東北・新潟ならではの探究学習として「東北ならではのSDGsプログラムとスキー学習」の講演を実施し、東北における新しい学びの目的等についてPRを行いました。第二部では旅行会社と東北・新潟各県の事業者との個別の商談会をオンライン上で実施し、「学びの場としての東北の魅力」について情報を発信し東北教育旅行の魅力をPRしました。

今後もコロナの状況をふまえオンラインも活用しながら東北・新潟の教育旅行誘致に向け取り組んでまいります。



【第一部セミナーの様子】



【第二部個別相談会の様子】

東北デスティネーションキャンペーン（東北DC）推進協議会 第9回代表者会議（オンライン）を開催しました（3月24日）

東北DC推進協議会第9回代表者会議をオンライン形式で開催しました。2019年7月に協議会を設立以降、東北DCを推進してまいりましたが、この年度末をもって解散することが決議されました。

2021年4月にスタートした東北DCは、開催期間中、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて多くの計画の変更を余儀なくされ、困難な状況下での展開となりましたが、その中でもコンテンツの磨き上げやデジタルツールの活用、東北を応援する「TOHOKUサポーター」の募集など、可能な事業を着実に実施し、東北DCのレガシーを作り上げてまいりました。

出席者からは「東北DC推進協議会は解散となるが、築いてきたレガシーを礎に、今後も東北の観光振興のため、継続して東北への誘客に努めて行こう。」などの発言を多数いただき、閉会となりました。



巡るたび、
出会う旅。
東北

仙山交流公開セミナーで紺野専務理事が講演しました（3月1日）

山形・仙台広域交流推進協議会の仙山交流公開セミナーにおいて、「東北観光の活性化について～仙山圏を中心にしたポストコロナ時代を見据えた観光地域づくり～」と題し、紺野専務理事が講演を行いました。東北観光DMP（データマネジメントプラットフォーム）による山形や仙台を中心とした東北のインバウンド動態分析や、東北の新しい旅行スタイルの創出「Base!TOHOKU」における天童温泉や秋保温泉・作並温泉での取組み事例を紹介し、東北DCのレガシーも活用しつつ、地域のコンテンツを整備して交流人口の拡大につなげ、持続可能な東北観光を実現していくことについて話しました。

また、「冬」「雪」の魅力を活かし、山形・宮城にまたがる蔵王を大きな魅力として、仙山圏を東北観光のゲートウェイとして東北全体の流動を高めていくことについて話しました。



【講演の様子】

第六期フェニックス塾 修了発表会・修了式を開催しました（3月14日）

宮城県のホテルメトロポリタン仙台において、第六期フェニックス塾の修了発表会・修了式を開催しました。

修了発表会では、「ウィズコロナ・ポストコロナを見据え東北（TOHOKU）が国内外から選ばれる観光地になるには」というテーマのもと、塾生が半年にわたってワークショップで議論を交わしてきた成果として、各グループごとの提言を発表しました。その後塾生一人一人から、フェニックス塾を通して得たこと、今後の抱負などについてスピーチを行いました。

東北運輸局、各県など行政、塾生の出身団体の上司などの関係者の方々も出席し、修了式においては来賓2名の方から塾生への期待を込めたお言葉をいただきました。その後、松本会長から塾生一人一人へ修了証書を授与しました。

第六期の修了生は36名となり、一期から六期まで計218名となるフェニックス塾生によるネットワークが形成されました。



【修了を迎えた第六期生】

第4回行政観光戦略会議（オンライン）を開催しました（3月9日）

東北6県・新潟県・仙台市の観光担当課長、他の皆様と共に会議を開催しました。「2021 年度下期事業報告について」「2022年度事業計画・収支予算」「各県・市における今後の観光振興方策」などについて、現状を踏まえ各県市の抱える観光に関する問題を共有し、コロナ禍からの回復状況をみながら取り組みの方向性などについて意見交換をしました。これからも積極的に連携を図りながら観光振興を進めて参ります。

第12回東北観光戦略会議を開催しました（3月16日）

経済団体、企業の実務責任者、東北6県、新潟県及び仙台市の観光協会・連盟の代表の方々等と共に会議を開催しました。会議では、「2021年度下期事業報告」「2022年度事業計画」などについて意見交換を行いました。議事ではコロナ禍に加え、世界情勢の不安から観光業への影響などについても意見がありました。

第19回理事会を书面決議にて開催しました（3月29日）

このたびの福島県沖を震源とした大型地震による被害を受け、书面決議にて開催しました。報告事項として2021年度下期事業報告の他、審議事項として新規入会の件、2022年度事業計画・収支予算の件、第6回通常総会の開催の件について理事全員からの同意により理事会決議が成立しました。その結果、東観推の正会員数は274団体となりました。

第七期フェニックス塾 塾生募集のお知らせ

東観推では、観光人材育成を目的とした「フェニックス塾」の第七期塾生を募集いたします。東北6県と新潟県等の観光誘客拠点地域を中心に開催し、観光分野の最前線で活躍する講師陣のセミナーとともに、塾生によるワークショップで東北の観光に関する課題や対策などについて議論をすることで、東北の観光振興についての知見を深め、同時に塾生間の交流を図ってまいります。意欲のある方々のご応募を心よりお待ちしております。

※詳細はこちらをご覧ください <https://www.tohokukanko.jp/business/index.html>

人事異動のお知らせ

東北観光推進機構推進本部において人事異動がございましたのでお知らせいたします。

<転出 3月31日付>

- ・事業推進部長 妹尾孝之（全日本空輸へ帰任）
- ・総務渉外部長 小林和弘（東邦銀行へ帰任）
- ・事業推進部統括マネージャー 高橋健一（JTBへ帰任）
- ・東北ブランド戦略部統括マネージャー 岩田俊昭（日本航空へ帰任）
- ・事業推進部チーフ 小島拓（宮城県へ帰任）
- ・事業推進部チーフ 小澤侑里奈（岩手県へ帰任）
- ・事業推進部チーフ 本多史明（新潟県へ帰任）
- ・事業推進部チーフ 高橋翔太（NEXCO東日本へ帰任）
- ・DX戦略部チーフ 工藤赳生（青森県へ帰任）
- ・東北ブランド戦略部チーフ 岩出翔太（秋田県へ帰任）

<転入 4月1日付>

- ・事業推進部統括マネージャー 高橋雄二（全日本空輸より）
- ・DX戦略部チーフ 佐藤惇（青森県より）
- ・DX戦略部チーフ 相澤萌佳（NEXCO東日本より）
- ・事業推進部チーフ 伊達宗純（宮城県より）
- ・事業推進部チーフ 坂井恵里香（岩手県より）
- ・事業推進部チーフ 藤本空（秋田県より）

<推進本部内異動 4月1日付>

- ・総務渉外部長 相沢利之
- ・総務渉外部統括マネージャー 河野謙一郎（DX戦略部より異動）
- ・DX戦略部統括マネージャー 高橋謙太郎（東北ブランド戦略部より異動）
- ・事業推進部 アシスタントマネージャー 雨田吉浩
- ・東北ブランド戦略部チーフ 佐藤弘樹（事業推進部より異動）

「旅東北NEWS」VOL.043 2022年4月15日発行
【発行】一般社団法人東北観光推進機構
仙台市青葉区一番町2-2-13仙建ビル8階
【TEL】022-721-1291【FAX】022-721-1293
【Email】info-ttpo@tohokutourism.jp

「東北観光推進機構」公式Facebook

東北6県・新潟県の旬の観光情報を配信中！

<https://www.facebook.com/tohokukanko/>

「いいね」「シェア」をよろしくお願いします！